2022年1月8日　インド大使館　バガヴァッド・ギーター

・朗誦：第11章1～10節

・引用：第13章－18節、第9章－18節

おはようございます。

前の話は、13章18節でした。

前の講話で「ジョーティシャーム　アピ　タッジョーティス」の話をしました。

意味は、すべての明るいものより明るい、すべての暗闇、無知の暗闇を超越したものでした。

それから次の文はなんですか？　みなさん声を出して言ってください。



ジョーティシャーム　アピ　タッジョーティス　タマサハ　パラム　ウッチャテー/ギャーナン　ゲーヤン　ギャーナ・ガンミャン　フリディ　サルヴァッシヤ　ヴィシュティタム//

*それ（ブラフマン）は、光るものの光源であり、明暗を超えた存在でもある。また知識であり知識の対象でもあり、知識の究極の目的でもあって、ここ全ての心臓の中に住んでいる。*

*//13-18*

**サンスクリットの発音について**

みなさん、発音について疑いあるかもしれません。本当はサンスクリットの発音はカタカナで表すことは無理です。それを理解してください。まず13-18２段目のローマ字を見てください。

→Jのあとｎの上に「～」のようなサインがありますが、この日本語の発音はないです。カタカナでその発音の文字がないので表すのが無理です。英語ではいろいろなサインを使ってできますが、サンスクリットのアルファベットは、もっとたくさんあります。それが問題です。サンスクリット語で発音できますけど、カタカナではできません。

ギーターの翻訳は、カタカナ表記でジュナーナ（ジュニャーナ）を使っていますが、「ギャーナ」に直していないです。※欄外①参照

例えば、サンスクリットに母音はたくさんありますが、日本語は「あいうえお」だけです。

（マハーラージがサンスクリット語の母音の発音をする。）※欄外②参照

混乱の可能性がありますから、本当の原因を理解してください。日本語で発音できないことを説明しています。サンスクリット語には子音もいっぱいあります。今日はホワイトボードがないから書けないのが残念です。

日本語で「カ」ありますね。ローマ字でkha

（マハーラージが ka とkha を発音をする。kaはソフトな「カ」。khaは「カ」と発音すると同時に息を吐く強い音で「カッ」という感じ）

kaとkhaの発音の違いわかりますか？

ga とghaもありますね。サンスクリット語の発音は何回も練習しないとできないです。

（マハーラージが子音の発音をする）

日本語でも同じ例があります。「しんかんせん shinkansen 新幹線」の発音の例を使いますと、最初のsh と後の sの発音が違います。イメージの関係で言っています。

サンスクリットはどのように発音しますか？　口蓋から出ます、舌の一番前ムルタと言っています。Sの発音でも、舌を反対にして発音する「シャ」という発音は、「ゴシュパダ」や「ダンタシャ」のように、みんな発音の場所が違います。口蓋、舌、歯に当たるなど、みんな別々です。たとえばカタカナで書きますと、「ラクシュマナ」「ラクシャサ」とSの発音が同じように聞こえます。ですけれども、「ラクシャサ」の意味は悪魔ですが、「ラクシュマナ」は悪魔ではないです。※欄外③参照

サンスクリット語の面白い点は、口蓋、舌、喉、歯、いろいろな発音、舌の動きもいろいろあります。サンスクリット語をよく知っていますと、他の言語の発音が楽になります。インド人の日本語の発音が綺麗なのは、それが原因です。

それから「ギャーナ」は、英語のサインを使ってます。上のドット、下のドットなどサインを使ってサンスクリット語に近い発音ができます。ギーターのローマ字見てください。ABCDとサイン使っていますね。トランスリタレーション（文字転写）のためにローマ字でサインを使っています。

その次にトランスレーション（翻訳）が書いてあります。

はっきりわかりましたか？　サンスクリット語の発音は、ABCDでは足りないですからサインを使っています。カタカナはサインがないですからそれができないです。

協会の本は、できるだけ同じパターンで作っていますが、バガヴァッド・ギーターの

のカタカナは「ジュナーナ」「ジュニャーナ」と書いてあって「ギャーナ」に直していないですから混乱の可能性があります。

**ブラフマンについて**

次はブラフマンについて。ブラフマンの色々な性質をあわせて１つ節、包括的な説明があります。

9章18節　117ページ



ガティル　バルター　プラブフ　サークシー　ニヴァーサハ　シャラナン　スフリト/プラバヴァハ　プララヤハ　スターナン　ニダーナン　ビージャム　アッヴャヤム

*私は全ての最終目的であり、保護者であり、主であり、目撃者である。また全ての住処、避難所、友人でもある。さらに私は全ての起源であり、消滅であり、基礎であり、宝庫であり、そして不滅の種子でもある。 //9-18*

形がある神様、形がない神様、両方についてその節が大事です。形がない神様はブラフマン。形がある神様はシヴァ、ドゥルガー、カーリーなどです。形がある、ない両方の姿について、これはとてもとても包括的な節です。

バガヴァッド・ギーターの見方では、シュリー・クリシュナは個人的なシュリー・クリシュナではありません。シュリー・クリシュナは神様と自分を同一視しているので、「シュリー・クリシュナは本当は神様」だとバガヴァッド・ギーターは言っています。シュリー・クリシュナはサマーディに入って、自分（神様）とブラフマンが１つになってその話をしています。

例えば何ですか？　自分の決めた神様をイメージしてください。シヴァ、ドゥルガー、ガネーシャ、スーリヤ太陽、イエス、お釈迦様、ラーマクリシュナ、クリシュナ、どの神様でも構いません、イメージを使って想像してもいいです。

形がある神様、形がない神様、両方神様です。翻訳だけでもイメージがありますけど、説明しますともっとわかります。

**最終目的　ガティル **

「ガティル」は最終の目的、最後の目的です。なぜらなら最初の目的と最後の目的を区別していますから。

人生の最初の目的はいろいろあります。お金稼ぎます、結婚します、子供作ります、いろいろ快楽も好き。このようにいろいろありますけれども、最後の目的は神様です。

それを考えると、他の目的は一時的な目的で、いつも変化しています。

例えば何ですか？　子供の時、目的は試験です。その時お金稼ぐ目的はないです。良い大学に入ってパスします。それが目的で、結婚のこと考えていますか？　目的は変化しています。

試験にパスした後、試験のことはもう考えていない。トヨタに入りたい、ソニーに入りたい、三菱に入りたい、そうではないですか？　次の目的は仕事にチェンジしています。例えばいい会社に入ってお金いっぱい稼ぎたいなど。

それから次の目的は何ですか？　例えば結婚する。ですけれどもお金がないと結婚のことは考えません。普通のことをイメージ考えてください。このように前の目的はチェンジしていないですか？　結婚のあとは家族欲しい。次の目的は子供を育てる。次は子供がいい学校に入ってほしい…。

そんな感じで変化していないですか？　目的は全部相対的で、前の目的はなくなっています。

では「絶対の目的」は何ですか？

例えば、おじいちゃんの目的は身体に問題がないこと。その他の目的は全部なくなっています。試験、仕事、家族、快楽もない、おじいちゃんはその目的が欲しい。一番の目的は元気、健康、みなさん私の近くにきて寂しくないようにコミュニケーションがほしい。

前の目的とどのくらい変化していますか？　霊的な見方で、これは最後の目的ではないです。身体がないと健康の目的はないです。ある状態のときまた生まれます。その状態で繰り返し

繰り返し、目的は一時的で「ある時はある、ある時にはない」と変化します。

では、何の目的になったら「永遠で絶対のもの」をもらうことができますか？

その目的は「神様」です。神様を悟りたい、神様と一緒にずっと住んでいたい、私は神様と１つになりたい。そうなれば、神様は永遠で絶対ですから、私も永遠で絶対になります。

このような目的が「最後の最終的な目的」です。神様だけがすべての人間の最後の目的です。

他の目的は、全部一時的でなくなってしまいます。

ギーター9章18節の「ガティル」の正しい翻訳は「最終的な目的」です。

もし、バガヴァッド・ギーターの深い言葉の意味を理解したいなら、自分の中から質問をつくらないといけないです。例えば「『神様は最後の目的』というのは、どうしてですか？」というように、自分の中から質問が出てこないと、その神様の言葉の深い意味は理解できません。

そのために学者は注釈をいろいろ作っています。ですけれども、普通の人はそこまで深く考えることはできません。そのために注釈は深い意味があります。注釈者は何の目的でその言葉を使っていますか？－と深く考えます。このプロセスは、我々も注釈者もやり方は一緒です。

深く考えて、質問が出てきて、考えて、答えが出ます。そのために深く瞑想して、自分の中からその意味（答え）が出ます。

**バガヴァッド・ギーターの勉強方法**

トゥリヤーナンダジーは言っていました。

「私はバガヴァッド・ギータの１節をとって、１週間ずっとそれを瞑想しています。」

我々の講話は１回１時間半で話していますけど、「その節の深い意味は何ですか？」とずっと考えています。それだけでなく、自分の毎日の生活を、それにあわせて実践しています。意味だけでなく、実践しないといけないです。バガヴァッド・ギーターも、その感じで勉強するのが正しい勉強のやり方です。

それから、バガヴァッド・ギーターの勉強のやり方は２つあります。

１つは、１つの節をとって、その深い意味を自分の経験、またみなさんの経験で考えます。

もう１つは、生活に関係があります。勉強だけでなく、人生の目的は「真理を悟る、神様を悟る、安定した幸せ、至福、自由」です。全部人生の関係です。そしてバガヴァッド・ギーターは「どのように人生をサポートしますか？」と考えます。本当の勉強のやり方はこうです。

ある節からヒントをもらって、理解して、自分の生活で実践します。

**保護者　バルター **

バルターはサポート、養うことです。例えば夫婦なら、奥さんにとって旦那さんがバルターです。旦那さんは奥さんをサポートしていますから。

神様は最後のバルターです。どうして最後の？　なぜなら、普通は奥さんにとって自分の旦那さんがバルターです。ですけれども、歳をとりますと息子・娘がサポートしますから、息子・娘がバルターになります。サラリーマンは社長がバルターです。

このようにいろいろな意味で、いろいろな前後関係で、相対的な意味でバルターになります。ですけれども、絶対的な意味でバルターは神様です。シュリー・クリシュナは言っています。「私がバルターです。」

では、旦那さんはどうしてバルターかわかりますか？　社長はどうしてバルターかわかりますか？　息子・娘が毎週１回来てお世話するのもバルターです。神様は我々を直接お世話していない、お金も稼いでいない、なのにどうしてバルターですか？－考えてください。

例えば、もし空気や風がなかったら我々は生きることができますか？　どなたが作った？　社長が作った？　両親が作った？　人間が作った？　ですけれども空気がないと生きることができない、呼吸できない。呼吸できないと酸素が入らない。酸素がないと生きることができない。

それからお水。水がなかったら生きることできますか？　できません。ではどなたが作っていますか？　我々が火、太陽を作っていますか？　無いと我々は生きることできません。でも我々は作っていない、神様が作っています。土はどなたが作っていますか？　土がないと野菜や果物はできない。

そのこと全部考えると、神様は我々のためにサポートしていませんか？

神様は我々を養っていませんか？

もう１つは普通の見方で、赤ちゃんはお父さんお母さんが育てます。ですけれども、お父さんお母さんの中に子供への愛がなかったら育てることはできないです。では、どなたがお父さんお母さんの中に愛を入れていますか？　また、赤ちゃんのために母乳が必要です。どなたが母乳を作っていますか？　お母さんが自分で作っていますか？　いえ、それは前からあります。赤ちゃんが生きるために、神様は最初から準備しています。そう考えると、本当はどなたがバルターですか？　私が息子、娘を育てています－というのは間違いです。

ベナレスで神聖な僧（サドゥー）の話があります。そのサドゥーは日本のお寺のお坊さんのようなイメージではないです。遍歴層で、僧院に入っていないので１人でいます。全部放棄した遍歴層はインドでは普通です。

ある時、ホリー・マザーが挨拶のためにそのサドゥーを訪ねました。サドゥーは働いていないですから政府からお金はもらえません。歳をとっていますと政府からお金が出ますけど、それももらっていない。僧院に住んでいないから、１人で住んでいます。

ホリー・マザーは「どなたがあなたを食べさせていますか？」と尋ねました。

お金を稼いでいないそのサドゥーは、こう答えました。

「ドゥルガー女神だけ私を食べさせています。」

もちろんドゥルガー女神は現れていないです。信者やお客様が食事を持ってきます。ですけれども、信者がその方に食事を持ってくる「やる気」、「お坊さんに食べさせたい」という気持ちはどなたが作っていますか？

例えば、人はいっぱいいますが、みんな寄付をあげていないです。寄付をあげる方は少ないです。なぜならその人の中に、神様に寄付をあげる「やる気」をつくっていないですから、寄付をあげません。「やる気」がないとそうしないです。

私の言うことがわかりますか？　人は「やる気」が無いと何もしないです。そのサドゥーのために食事を持ってくる「やる気」は神様が作っています。そしてサドゥーは答えていました。

「ドゥルガー女神だけ私を食べさせています。」

この深い意味がわかりますか？　そのことを考えるとバルターはどなたですか？　神様でしょう？　神様は、本当に我々のバルターです。お父さんお母さんではない、旦那さんでもない、社長でもない、政府でもない、お金持ちでもない、神様です。みんなに合わせてください。本当の最終のバルターは神様です。

**主　プラブフ **

次はプラブフです。（※欄外④参照）日本語では「主、持ち主」がブラブフです。例えば召使いの持ち主は主人。旦那さんも主人、プラブフです。持ち主の意味は何ですか？　オーナー、主人です。それを合わせています。その事を考えると相対的な意味で、社長、旦那さん、いろいろいますけれど、本当の主は神様です。なぜなら神様は主の主だからです。旦那さんの主も、社長の主も、最終的に神様です。

「KING OF KINGS」という映画を私は覚えています。私がまだお坊さんになっていなかった頃、とても若い時にコルカタの映画館で見ました。その映画のタイトルは「王様の王様」。王様とは本当は誰ですか？　イエス様です。とても面白いですね。ヒンズー教の考えで、王様の王様はクリシュナです。わかりますか？みなさん。

最後のプラブフは神様です。

ミクロレベルではさっき言いました、社長、旦那さん。

マクロレベルでは神様、ブラフマンです。

**目撃者　サークシー **

次はサークシー、傍観者、目撃者のことです。例えば傍観者の意味はなんですか？

（参加者）影響をうけない、離れて見ている

物から離れていて見ている、自分とは関係ないある人。あるもの関係なくても見ている…。

例えば、２人が道を歩いていて、突然喧嘩を始めました。それを周りで見ている人が結構います。普通ではないですか？　みなさん全然関係なくても見ています。それが傍観者です。全然関係ない人が見ています、神様もそうです。

ある時、先生はブラフマンの特徴を弟子にいっぱい説明しました。全知、全能、偏在、ブラフマンのことをいっぱい説明しました。

その後４人の弟子に先生は、「みなさん、あなたに１つ果物をあげます」と言って果物を渡しました。

「あなたは、もちろん食べて良いのですが、１つ条件があります。誰も見ていない場所に行って食べてください。誰にも見られない場所に行って隠れて食べる、それが条件になります。

みなさん理解したら、どうぞ行ってください。」

すると、ある弟子は誰もいない洞穴、ある弟子は周りに誰もいない富士山の上、

ある弟子は大きな広い野原で、人だけでなく生き物も鳥もいない場所など、あちこち行って、誰にも見られないように食べて戻りました。

先生は尋ねました。「どうですか？　どこで食べたか言ってください。」

ある弟子は私は洞穴に入って隠れて食べました。別の弟子は山の上に登って誰もいない所で食べました。また別の弟子は、野原に行って誰もいない所で食べました。

しかしその中に１人だけ、果物を食べないで戻した弟子がいました。

先生「どうして？　あなたは誰もいない場所を見つけられなかったのですか？」

弟子「先生、いっぱい探しましたけど、誰も見ていない場所は見つけられませんでした。

だって先生は、ブラフマンは偏在だと教えてくれたので、誰も見ていない場所はありません。隠れることなんかできないです。神様は絶対どこにでもいますから。」

これが、「傍観者」をどのくらい深く理解できたかのテストです。４人の中で、１人だけ理解できました。

このように、「秘密」という言葉を使っていますけど、「秘密」はできないです。神様は偏在ですから隠れることはできないです。少なくとも、あなたの中の神様が見ていますでしょう？

そこから隠れることはできますか？　できません。そして神はサークシー、傍観者です。人間から隠れることはできますが、神様から隠れることはできないです。なぜなら神様は偏在ですから。そして気をつけないといけない。どんな仕事の時にも、絶対正しい仕事をしないといけない。道徳的な仕事をしないといけないです。もし非道徳的な仕事をしますと、傍観者がいることを思い出してください。それを避けることはできないです。ちょっとメッセージが違いますけど、本当はそうではないですか？

シュリー・ラーマクリシュナは、秘密のことは何もなかったでしょう？　直弟子のスワーミー・ヴィヴェーカーナンダも秘密のことは何もなかったでしょう？　ですけれども、我々は秘密のことがいっぱいいっぱいあります。もっともっと減って秘密のことが何もなくなりますと

聖者になります。もっと純粋になります。純粋になると秘密のことがなくなります。

このようにバガヴァッド・ギーターの教えは、人生にとても関係があります。

哲学だけではなく、本当に我々の人生に関係があります。

もしあなたが以前、秘密があったとしても、前のことは忘れてください。前のことは神様が綺麗にします。それから、例えばコロナ禍でも心配しないでください。

シュリー・ラーマクリシュナは、時々信者たちに質問しました。「あなたは前に罪を犯しましたか？　でも全然心配しないでください。あなたは神様のことを考えてください。神様はそのこと（犯した罪）も面倒みます。ですから前に犯した罪を心配しないでください。大事なポイントは、これから自分の人生をコントロールすることです。隠れて何もしないように。

もちろん、みなさんがグルから教えていただいたマントラは、他の人には教えないでください。私は否定的な意味での「秘密」のことを言っています。

以上

──────────────────────────────

※サンスクリット語の発音についての補足

①「ギャーナ」の発音



上記のサンスクリット語は、カタカナでジュニャーナ、ギャーナ、ニャーナ、ギャーナなどいろいろな表記があります。

それはサンスクリット語の繊細な発音が日本語にはないからです。

現在ヴェーダーンタ協会の講話のまとめでは、マハーラージの発音をカタカナにした

「ギャーナ」と表記しています。

バガヴァッド・ギーターの本に書かれているカタカナは、以下のように読み方が変わります。

ジュニャーナン→ギャーナン

ジュニェーヤン→ゲーヤン

ジュナーナ→ギャーナ

②母音

長さや発音の仕方など日本語の母音よりたくさんあります。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| अ a [a]  | इ i [i]  | उ u [u]  | ए e [e:]  | ओ o [o:]  |
| आ ā [a:]  | ई ī [i:]  | ऊ ū [u:]  | ऐ ai [ai]  | औ au [au]  |

③sの発音は３種類あります。

श ś [ʃ] (sh)

ष ṣ [ʂ]

स s [s]

④

hと違い、声帯を振動しない音。

の場合、「プラブフ」の「フ」は、「fu 」と発音せず、「フッ」と息を吐くように発音します。「プラブッ」のイメージです。

バガヴァッド・ギーターの本では「プラブフ」と表記されていますが、発音を聞くと「プラブ」と聞こえます。協会の賛歌集は「プラブ」と表記しています。